

## 支援事例

商工会名	益城町 商工会	氏名	新堀一記	情報開示の可否	可
支援テーマ	販路拡大・販路支援	題名	小規模事業者持続化補助金の活用をきっかけとした後継者育成		
	事業承継				

### <支援企業の概要>

事業所名	びかいちデンキ	従業員	1 人	創業/ 会社設立	創業日	1998年9月1日
業種	電気機械器具小売業	うち家族従業員	1 人		業歴	26年6ヶ月

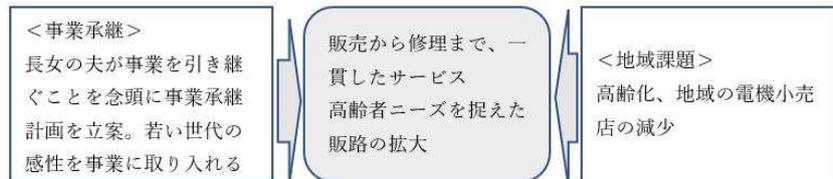
### ○企業概要

熊本市内の共同店舗から益城町に事業拠点を移してから20年が経過しました。現在、家電販売・家電修理・電気工事を中心に無店舗型営業を行っている個人事業者です。家電販売から電気工事まで、顧客のニーズに応じた幅広いサービスを提供しています。特に、代表者は家電製品総合エンジニアの認証資格を保持しており、生活家電やAV家電の販売と修理を行える店舗は地域内でも非常に少ないです。3年前から、代表者の長女の夫が後継者として従事しています。

### ○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

#### 【支援課題・支援計画】

- (支援課題) 販路開拓支援と後継者育成  
 (短期計画) 小規模事業者持続化補助金を活用した催事の開催  
 (中長期計画) 事業承継の完了  
 (現状分析)



①催事の開催	創業 20 周年企画催事の開催。町内顧客増加を目指す。
②プロモーション	催事の開催チラシ作成、新聞折り込み DM の作成
③後継者育成	事業承継計画を立て、技術育成と顧客承継

### ○支援内容および支援後の状況・効果

#### 【支援内容】

- ①催事開催…店舗レス営業であるため、催事会場を探したいと相談を受け、営業目的の使用が可能な町中心部の公民館を紹介。  
 ②プロモーション…催事開催に向け、小規模事業者持続化補助金を活用した販路開拓、事業計画策定支援を実施。後継者を中心に催事の企画運営・販路開拓計画を立案。事業計画作成をきっかけとして、代表者と後継者の対話を通じた事業展望を描いた。  
 ③後継者育成…熊本県事業承継・引継ぎ支援センターが主催する後継者育成塾への参加を提案。事業承継計画作成支援。

後継者は現代表者の長女との結婚をきっかけに、異業種から家業である電気業界に転職し、現在3年目を迎えています。技術の引き継ぎは日々進んでいるものの、財務管理や顧客管理、運営ノウハウの承継はまだ進んでいませんでした。しかし、持続化補助金の活用を契機として、代表者と後継者が事業の展望を構想する中で、事業承継に向き合う機会が生まれました。そこで、後継者育成塾への参加を提案し、後継者夫婦で参加しました。育成塾では、これまで気づかなかった自社の強みや弱みの把握し、現代表者との対話を通じて自社の振り返りと事業展望を描くことができました。これらの成果を基に、事業承継計画の作成に挑まれ、事業承継への第一歩を踏み出しました。

#### 【進捗・成果】

持続化補助金は無事に採択され、事業計画通りに催事が開催されました。来場を促す企画が盛り込まれたチラシ作成と配布の効果もあって、会場は賑わいをみせました。この催事は、既存顧客に後継者を紹介する絶好の機会となりました。後継者育成塾では、すべてのカリキュラムを無事に修了し、その過程で事業承継計画を作成されました。

### ○今後について（目標や課題など）

今後は、事業承継計画を基に後継者育成期間を経て後継者への移譲が進むことになります。ネット通販や家電量販店とは違う、地域密着型の経営スタイルを社会変化の中でどのように維持できるかが課題と思われます。若い世代への事業承継は、社会変化に伴う顧客ニーズへの対応という点においても重要と思います。